



National Institute of Technology, Toyama College



高専ロボコンに本郷A・B、射水A・Bの4チームが出場

02 商船学科卒業証書・海事システム工学専攻修了証書授与式

04 高専ロボコン

06 県外工場見学・流通見学(4年生)

08 県内工場見学(3年生)・乗船実習

10 課外活動

15 教務主事からのメッセージ

16 News & Topics / 平成31年度入試情報

平成30年度

商船学科
卒業証書

海事システム工学専攻
修了証書

授与式

Commencement



思い出を胸に人生の航路を切り開く

商船学科
実習生

小西 秀佳



卒業式を迎えて

入学して半年後に出席した商船学科卒業式。そこでの先輩方の姿が強烈に印象に残りました。清々しい表情、真っ直ぐに伸びた背筋、大きな声で返事をし、きびきびと歩く姿。『5年後には先輩方のような姿で卒業する』と決意し、学校生活を送りました。

それから5年間、学業はもとより、北斗祭やカッターレース大会等の学校行事、寮生活を通して多くの先生方や学生と交流を深めました。通算1年間の乗船実習では、激しく動揺する船の中で、何日も続く厳しい訓練を経験しました。これらの経験を通して培われた忍耐力と自分に対する自信は私を大きく成長させてくれました。

そして今日、5年前に見た卒業生と同じ姿で卒業できることを誇りに思います。5年半支えてくださった先生方、保護者に感謝し、各々の道で活躍したいと思います。

専攻科
海事システム工学
専攻 修了生

川島 優軌



7年半

7年半、これは何だと思いませんか？

私がこの学校に在籍していた年数です。数ある高等専門学校の中で最長とのこと。びっくりですね。

私は9月に専攻科海事システム工学専攻を卒業しました。こんなに長く富山高専で過ごしたわけですが、「足りない」。これが7年半の感想です。皆さんの大半は私よりも短いでしょうから、もっと「足りない」と感じるのではないのでしょうか？ 皆さんには、後悔のないように、学校生活を有意義に楽しんでほしいと願います。生まれてから15年住んだ東京には愛着を覚えませんでした。富山から離れるのは少し寂しいと思いました。お世話になった教官方、特に経田教官と中谷教官、ありがとうございました。

それでは、またいつか。

平成30年度卒業生・修了生

商船学科／航海コース17名、機関コース16名 海事システム工学専攻4名

主な進路(五十音順)

商船学科

■就職先

(株)朝日工業社、東海運(株)、NSユニテッド(株)、NTT-WEマリン(株)、鹿児島船舶(株)、川崎近海汽船(株)、五栄土木(株)、佐渡汽船(株)、(株)商船三井、商船三井オーシャンエキスパート(株)、(株)新日軽北陸、新日本海フェリー(株)、ニッスイマリン工業(株)、日本海運(株)、日本港運(株)、日本通運(株)、ヤンマーエネルギーシステム(株)、YKK(株)

■進学先

神戸大学海事科学部、東京海洋大学海洋工学部、富山高等専門学校専攻科

海事システム工学専攻

■就職先

正栄汽船(株)、鶴見サンマリン(株)、日本通運(株)

学生表彰

名称	航海コース	機関コース	海事システム工学専攻
学業優秀賞	長谷川 慎太郎	畑 将弘	川島 優軌
日本航海学会 奨学褒賞	安藤 隆泰		
日本船舶海洋工学会 奨学褒賞	小西 秀佳	松井 真悟	
海技教育財団会長賞	湊谷 華奈	中前 心佑	
全日本船舶職員協会賞	若宮 翔	富樫 和樹	
日本機械学会 畠山賞		林 彰太	
日本マリンエンジニアリング学会 優秀学生奨励賞		多田 翠月	
航海訓練課程実習成績優秀者	井黒 航介		

平成30年9月21日(金)午前10時より、富山高等専門学校射水キャンパス第2体育館において、平成30年度商船学科卒業証書授与式および専攻科海事システム工学専攻修了証書授与式が挙行されました。

賞状校長から商船学科卒業生33名へ卒業証書が、海事システム工学専攻修了生4名へ修了証書が一人ずつ手渡され、「本校で学んだ技術や問題解決能力、コミュニケーション力を、ぜひ我が国の海事産業、そして我が国・世界の発展にぜひ役立ててほしい。」と式辞が述べられました。

続いて、在校生代表の川上真菜佳学生会長(国際ビジネス学科4年)からの送辞を受け、卒業生・修了生を代表して畑将弘さんが、「明日からの人生において、ここで学んだことの意義をかみ締め、それぞれの分野で活かし、一人ひとりが託された使命を精一杯果たします。」と答辞を述べました。

最後に卒業生たちは、帆船の出航時に行われる「登樁礼(とうしょうれい)」の儀式に倣って「ごきげんよう」を三唱した後、制帽を投げるパフォーマンスを行い、新たな人生への船出を祝う大きな拍手に包まれながら、前途洋々たる未来へ旅立ちました。



商船学科実習生
担任

河合 雅司



新しい船出に乾杯!

寄り回り波のイラストに「Dr. Kawai Masashi」の文字が真ん中に描かれたクラスの寄せ書きをいただき、どうもありがとうございました。

皆さんはこれから、それぞれの新しい道を一步ずつ夢に向かって歩み出すことになります。そして、その道中では失敗することもあるれば寄り回り波のような荒波が突如押し寄せてくることもあると思います。でも、失敗や荒波をプラス思考で捉えて乗り越えてください。そこには素晴らしい世界が待っているはずです。ひょっとしたら、もう既に荒波をかぶった人もいかもしれませんが、プラス思考で波を乗り越えて、そして、波に乗って前へ進んでください。商船学科26期生の皆さんの新しい船出に乾杯!

海事システム工学
専攻 担任

経田 僚昭



修了おめでとうございます

平成30年度専攻科海事システム工学専攻修了生の皆様、おめでとうございます。修了証とともに学位記が授与されたことは担任としての喜びでもあります。授業ではレポート作成、試験勉強、発表資料作りや発表練習が必要となり、それら課題に取り組みながら特別研究に打ち込むのが専攻科です。2年間という月日の中では身の回りの環境の変化も多くあったものと思います。これからの生活においても心身ともに健康状態を維持しながら、専攻科で学んだ2年間の経験を思い出してください。落ち着いて対処すれば困難を乗り越えることができます。ストレスをためず、どうぞこれからも元気で過ごしてください。またお会いできる日を楽しみにしております。



高専

ロボコン

アイデア対決・ 全国高等専門学校ロボットコンテスト2018 東海北陸地区大会

2018年10月14日(日) いしかわ総合スポーツセンター(石川県金沢市)

大会結果

本郷キャンパスAチーム

▼マブチモータ賞

本郷キャンパスBチーム

▼田中金金属グループ賞

本年度の高専ロボコン東海北陸地区大会は、2018年10月14日(日)、金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで開催されました。競技課題は『Bottle-Flip Cafe』。1チーム2台のロボットが、自陣の8つのテーブルに向かってペットボトルを投げて、かっこよく立たせることを競い合います。

富山高専からは計4チームが参戦。いずれのチームも持ち味を見せ、善戦いたしました。全国大会出場はかないませんでしたが、本郷キャンパスAチームはマブチモータ賞、本郷キャンパスBチームは田中金金属グループ賞を受賞いたしました。



本郷キャンパス

本郷キャンパスAチーム Tea-Pop

機械システム
工学科3年
水上 裕太



——今年のロボットを紹介してください

今年のロボットは消防車をイメージしたロボットで、自動ロボットと手動ロボットがあります。自動ロボットは一番高いテーブルまで自動的に走行し、高いテーブルに載せます。特にペットボトルを回転させて(フリップ)載せることができるのが特徴的です。ロボットの頭脳が頑丈なポリカーボネートケースに入っており、回路がとても安全です。15個ものマイコンを納めています。

——今年のロボコンで面白かったところ・苦労したところ

面白いというより、私たちにとってはひたすら難しい競技でした。ボトルの回転のタイミングが合わなくて、調節が難しく苦労しました。またテーブルまで自動走行するのですが、まっすぐに走らせるのが難しかったです。今回は残念ながら予選リーグで敗退しましたが、今後の競技で利用可能な様々な技術が習得できた試合でした。

——来年に向けた抱負をどうぞ

来年はプログラム・制御を中心に、それを生かせる機械をメカック部の総力を挙げて作ります。現在不足しているプログラマの人数を増やせるように教育していきます。来年も応援してください。

本郷キャンパスBチーム 極彩開花

電気制御システム
工学科2年
高田 和臣



——今年のロボットを紹介してください

手動機は大きな弓で2.4mのテーブルを狙い、左右の2本の腕で固定テーブルを狙います。自動機は安定した走行で4つのテーブルを狙います。自動機はメカナムホイールを使って全方向移動を可能にしました。ペットボトルは立ちやすいように長方形の断面を持つものを使用しました。

——今年のロボコンで面白かったところ・苦労したところ

作り始めが遅く、経験が少なかつた意識も足りなかつたのですが、弓を褒められて特別賞をもらうことができ、嬉しかったです。一番高いテーブルに乗せること、ペットボトルを投げる腕の長さや高さの調節や自動機をまっすぐに走らせること、相手チームによって変わるテーブル位置に合わせるのが難しかったです。

——来年に向けた抱負をどうぞ

全国大会に行けなかつた分、時間がいっぱいあるので、来年に向けて十分準備して来年の新チームで優勝できるように頑張ります。機械班としては使えるアイテムを増やしたい、電気班はより故障が少なく誰にでも使える環境を整えるようにしたい、と思っています。

射水キャンパス

射水キャンパスAチーム Surre@lism

電子情報
工学科4年
山田 和輝



——今回のロボットの特徴

自動機1台のみで、ペットボトル複数本を2.4mのテーブルに立てることができること。ペットボトルの中身の方にも水風船を2つ重ねることで、更に安定して立てることができるという点です。筐体自体はいいものができたのですが、ソフトウェアの調整が追いつかないという事態を引き起こしてしまいました。

——今年のロボコンで面白かったところ・苦労したところ

高精度な自己位置推定を実現できたときと初めてハードウェアとソフトウェアを結合させて動かしたとき、そして2.4mのテーブルに複数本のペットボトルを立てることができたとき、自分なりに充足感を得ることができました。苦心したことは、ペットボトルを投射する機構を製作する際、最適な機構やアクチュエータの選定に苦労したこと、ペットボトルを飛ばすための機構を新しく考案する必要があったことです。

——最後に一言

毎年すごく苦しむのですが、ロボットが動く瞬間に救われるような感覚に陥ります。そういう瞬間があるからこそ、ロボット制作は楽しいと感じるのだと私は考えます。後輩たちにもロボットの制作を苦しみながらも楽しんでほしいです。

射水キャンパスBチーム NOT@./ONE

電子情報
工学科4年
木原 正志



——チームリーダーとしての感想

堅実に動作することを目的に、ロボットの構想を練りました。今年の競技はペットボトルを用意されたテーブルの上に投げて、立てるといった競技でした。人間でも行うことが難しい競技で、メイン設計を行った3年生は非常に苦労して、何度も設計し直ししながらロボットを制作しました。3Dプリンターなども駆使しましたが、夜遅くまで部室に残ることもありました。数多くの困難に立ち向かうことになりましたが、それもわれわれの糧となり、ロボコンを通じて多くのことを学び、成長することができました。

——反省点と今後の課題

余裕がないにもかかわらず、開発速度を優先しすぎ、ロボットそのものの設計がおざなりになってしまい、かえって開発期間が伸びてしまったことが反省点に挙げられます。今後は目標や課題を設定したあとのチーム全体の管理、スケジュール通りに進めることを意識して行うことが必要だと強く感じています。

——最後に一言

最後になりましたが、今年も沢山の人が関わってくださったおかげで、無事ロボットを制作することができました。お世話になったすべての皆様に深く御礼申し上げます。

県外工場見学・流通見学(4年生)

Study Tours

本郷キャンパス

機械システム
工学科4年

伊藤 衣里

将来への展望と、学んできたこと

9月25日(火)~28日(金)



私たち機械システム工学科はJFEスチール、SUBARUテクノ、全日本空輸機体メンテナンスセンターの3カ所を見学させていただきました。どの工場でも懇切丁寧に案内していただきました。特に印象に残っているのは全日本空輸機体メンテナンスセンターの見学で、飛行機を間近で見ることができました。展望デッキから見るとそんなに大きく見えない垂直尾翼もかなり大きく、迫力がありました。飛行機の速度を測定する装置には流体力学で学んだピトー管が使われており、専門科目をより身近に感じることができました。今回の工場見学で現場がどういったものか学ぶことができ、技術者として働くイメージがより深まりました。進路をより具体的に考えるきっかけにしていきたいと思います。

見学先

JFEスチール、SUBARUテクノ、全日本空輸機体メンテナンスセンター

本郷キャンパス

電気制御システム
工学科4年

室林 怜

幅広い進路と電気技術応用

9月25日(火)~28日(金)



電気制御システム工学科は、4日間の日程の中、日立金属株式会社、コマツ重機茨城工場、那珂核融合研究所、川崎火力発電所、出光興産千葉事業所の5社を見学させていただきました。各見学先が磁性体工場、重機の製造ライン、研究機関、発電所に石油プラントと幅広く、一言に電気系と言っても生産ラインの制御や機械の保全、核融合のためのプラズマ発生など、あらゆる場面で有用となることが実感できました。特に、解体した核融合炉を間近で見て構造や仕組みを学べたことが私の印象に残っています。電気系は特に幅広い就職先があるので、今回の見学を参考にし、どのような進路を目指すのかを考えるよい機会になったと思います。

見学先

日立金属株式会社、コマツ重機茨城工場、那珂核融合研究所、川崎火力発電所、出光興産千葉事業所、日本科学未来館

本郷キャンパス

物質化学
工学科4年

大城 愛美

将来について考えられた工場見学

9月25日(火)~28日(金)



物質化学工学科は9月25日から4日間の日程で東京方面の工場を見学してきました。見学場所はサントリー白州工場、JXTG根岸製油所、花王川崎工場、日本科学未来館、日本電子昭島製作所です。印象に残ったことは見学した工場はどの工場でも環境や地域に配慮したものづくりを行っていることです。森づくりを行い、この先長く水を得続けるための対策、排水の処理、火災が起きた時の近隣の住宅へ被害が拡大しないための対策などを行っていることを知りました。私たちが就職した後、社会に貢献するために考えるべきことを知れたと思います。この見学を通してこれからの私たちの将来についてより具体的に考えていこうと思います。

見学先

サントリー白州工場、JXTG根岸製油所、花王川崎工場、日本科学未来館、日本電子昭島製作所

射水キャンパス

県外企業見学を終えて

10月23日(火)~26日(金)

電子情報
工学科4年
中村 紀香



私たち電子情報工学科は、10月23日から26日にかけて県外工場見学に行ってきました。見学先はガスの科学館、株式会社メンバーズ、日本科学未来館、JAL羽田整備工場、アルファシステムズ、富士通テクノロジーホールの計6つの企業・施設です。最新の技術であったり、企業の歴史であったり、日々の業務であったりとたくさんのお話を伺いました。そのお話から、最新の技術も古い技術も根底には「人のため」という考えがあることを強く感じました。富山県では決して味わうことのできない、県外での工場見学だからこそその刺激をそれぞれの見学先で受けることができたと思います。今、学校で学んでいる知識や技術も将来、「人のため」に発揮したいです。

見学先

ガスの科学館、メンバーズ、日本科学未来館、JAL羽田整備工場、アルファシステムズ、富士通テクノロジーホール

射水キャンパス

唯一無二の時間を過ごした流通見学を終えて

10月23日(火)~26日(金)

国際ビジネス
学科4年
円谷 美春



10月下旬に東京で行われた流通見学ではたくさんの方にお話になりながら、これからの私たちの人生の指針を各々見つけることができました。私たちが学んだことは書きつくすことなどできないくらい数多くあります。人の命を預かることの重さ、水際で国の安全を守るという使命、発展のために成長し続けること、冷静な行動が最善を見つけること、情報は自らの足で取ること。弛まぬ努力が企業や自身を成長させることを知り、また人と人との繋がりがあってこそ社会というものが成り立つことを改めて感じました。様々な職種の方と直接お話できる機会など滅多にないことで、本当に貴重な時間をいただきました。私たちのこれからの確実に役立つことも、そうでなさそうなことも、すべてを自らの力として生かせる社会人になりたいです。

見学先

JALエンジニアリング、東京税関、東京都港湾局、警視庁交通管制センター、朝日新聞東京本社

長期乗船実習中の商船4年生

商船学科4年生は、10月から2月まで、独立行政法人海技教育機構の練習船で長期乗船実習中です。以下、練習船の行動予定をお示します。帆船の日本丸には主に航海コース、銀河丸には主に機関コースの学生が乗船しています。

●日本丸

東京10/3発→函館10/12着10/16発→新潟10/27着11/2発→広島11/9着11/13発→別府11/20着11/24発→横浜11/29着12/4発→神戸12/10着(一時下船)神戸1/5発→シンガポール1/20着1/24発→東京2/8着2/10下船

●銀河丸

神戸10/5発→東京10/12着10/16発→門司10/23着10/27発→神戸11/1着11/5発→福山11/9着11/13発→広島11/15着11/19発→博多11/26着11/30発→横浜12/3着12/6発→東京12/8着(一時下船)神戸1/9発→鹿児島1/15着1/19発→細島1/25着1/29発→神戸2/1着2/5発→神戸2/8着2/10下船



県内工場見学・企業見学(3年生)

本郷キャンパス

県内工場見学を終えて

9月28日(金)

機械システム
工学科3年
奥野 拓



私たちは日産化学と三協立山の工場を見学しました。日産化学は化学品の製造のイメージが強く、機械の技術がどのように関わっているのかが興味がありました。説明は高専卒の方が説明してくださり、大規模なプラントの建設など、機械系でも活躍できる部門がたくさんあり、おもしろそうだと感じました。三協立山では工場内のスケールの大きさに驚きました。すべてのものが大きく、特に6,000トンの押出機には圧倒されました。工場の自動化も進んでいて、大きな工場の割には、働いている人が少なかったです。自動化が進むと、一人がカバーする領域が増え、幅広い知識と応用力が必要になってくると感じました。今回の工場見学を今後の勉強や進路を選択するうえで、しっかりと活かしていきたいと思います。

見学先
日産化学、三協立山

本郷キャンパス

私たちの生活への電力供給の努力

9月28日(金)

電気制御システム
工学科3年
門口 正承



私たちは発電関係の施設を見学しました。風力、太陽光発電所では、再生可能エネルギーが全体の発電量に占める割合は少ないものの、見学した発電所では風車9基で一般家庭約11,000世帯分の電気をまかなえ、自然エネルギーを用いた発電では大きな発電所であることを実感しました。原発にはこれまで危険なものという印象が片付けてしまっていたのですが、見学で「止める・冷やす・閉じ込める」という3つの安全のための機能を目で見ることで考えを改めました。発電にはそれぞれメリット・デメリットが存在します。その中で、いかにデメリットを補い、メリットを伸ばす努力がなされているのかを学ぶことができたと同時に、まだある問題をいかに解決するかを今後の学習の中で考えていきたいと思いました。

見学先
志賀原子力発電所、アリス館志賀、福浦風力発電所、志賀太陽光発電所

本郷キャンパス

工場見学を終えて

9月28日(金)

物質化学
工学科3年
中島 謙太



課外授業の一環として、私たちは県内製薬会社である陽進堂およびアステラスファーマテックの工場を見学しました。どちらの会社でも印象的だったのは、製造現場における衛生面の徹底した管理でした。工場内に異物を持ち込むことを避けるため、私たち見学者であっても防塵服を着て、エアシャワーで体の埃を落とした後に工場に入りました。見学時には、薬の製造室に清浄な空気が供給されていることや、製造室の気圧を高くし、外部からの空気の流入を防ぐことなど、製薬工場としての特徴を見聞きできました。日常とは異なる工場の現場を体験でき、薬が十分な衛生管理下で製造されていることを知ることができました。

見学先
陽進堂、アステラスファーマテック

射水キャンパス

目に見えない技術の凄み

10月26日(金)

電子情報
工学科3年
小森 美和



今回の県内企業見学では、KOKUSAI ELECTRICとシキノハイテックの二社を見学させていただきました。KOKUSAI ELECTRICは半導体を作るための機械を作っている会社で、10nmという人間の目に見えない薄さの膜を均一に成膜する技術が強みだそうです。また、アメリカ、ドイツ、韓国などの国外にもグループ会社をもっているのが印象的でした。シキノハイテックでは信頼性試験装置など見学しました。これは過激な条件でテストを行い極めて優秀なLSIを選別するための装置です。自社開発製品なのでこの装置を作るために様々な人の努力と技術が集まってできていることが社員さんの説明で伝わりました。

この企業見学で、お客さんの要望に応えたり商品の信頼性を得たり、働くことの責任の大きさを感じました。同じ会社といっても様々な部署があり、携わっている仕事も様々なので進路を考えるうえで自分に向いていることや、どんな仕事をしたいかを考えるよい機会になりました。

見学先
KOKUSAI ELECTRIC、シキノハイテック

射水キャンパス

誇りと情熱をもって仕事に向き合うこと

10月26日(金)

国際ビジネス
学科3年
青山 颯希



富山第一銀行とスギノマシンを訪問しました。富山第一銀行では、銀行の役割についてお話を聞くことができました。そこで銀行の業務として顧客の課題を解決するために商談を用意することも行っていると知りました。対応してくださった社員の方向士の雰囲気はよく、素敵な職場だと感じました。スギノマシンでは水で切断する技術について説明をいただいたとともに、会社の売上の半分は海外で、グローバルな会社であることをお聞きしました。また卒業生の話から、英語や中国語など語学が役立つと分かりました。各社で、社員の方が仕事に誇りと情熱を持って働いている姿を見ることができ、自分もそうなれる仕事に就きたいと思いました。

見学先
富山第一銀行、スギノマシン

射水キャンパス

荒天での停泊実習

後期若潮丸実習 11月15日(木)・16日(金)

商船学科3年
坂川 幸仁

商船学科3年生の後期若潮丸実習を11月15日(木)・16日(金)に行いました。今回は海が荒れていたため、15日の朝に新湊を出港し、15時頃に帰港しました。やはり、荒れた海のせいも、学生による拙い操舵のせいかわかりませんが、横揺れが酷く、私を含めた多数の学生が酔いを起こしました。しかし一人も離脱者を出さずに航海当直を完遂し、無事に入港することができたので、とても素晴らしい実習だったと思います。

16日は、停泊当直の実習を行いました。航海コースは主に航海計画を立てる講義を受け、機関コースは暖機作業を行っていたそうです。航海ができなかったことは残念ですが、停泊中に行わなければならない業務を重点的に習得することができたのでよかったです。

今回の実習では、あまり外海に出ることはできませんでしたが、座学で学んだことをどれだけ実際の船で活かすことができるのか試すことができたので、いい経験になったと思います。

本郷キャンパス2年生 校外研修
9月28日(金)

訪問先
機械システム工学科 JR西日本金沢総合車両所
電気制御システム工学科 中越バルブ
物質化学工学科 東亜合成

射水キャンパス2年生 遠足
10月26日(金)

訪問先
全学科 飛騨高山

商船学科3年生 県内企業見学
10月26日(金)

訪問先
日本通運、富岩水上ライン

課外活動 [運動部]

第53回全国高等専門学校体育大会

陸上競技で男女総合優勝

8月18日(土)～19日(日)に熊本県熊本市の「えがお健康スタジアム」(熊本県民総合運動公園陸上競技場)で開催された全国高等専門学校体育大会陸上競技で、射水キャンパス陸上競技部が男子女子そろって総合優勝することができました。男子200m、4×100mリレー、砲丸投、円盤投、女子100mハードル、砲丸投、円盤投の優勝をはじめ、多くの選手が入賞し、練習の成果を大いに発揮いたしました。



柔道で男子団体3位・女子個人63kg級準優勝

全国高等専門学校体育大会柔道競技が大分県立総合体育館で開催され、8月25日(土)の男子団体戦では、富山高専本郷キャンパスが3位に入賞しました(5年ぶりの快挙)。また、翌26日(日)の個人戦では、女子個人63kg級の本田和香奈さん(物質化学工学科4年)が準優勝しました。全国の強豪相手に、日頃の練習の成果を発揮し、見事な成績を収めました。



男子バスケットボールで3位入賞

9月1日(土)～9月2日(日)に熊本県立総合体育館で開催された第53回全国高等専門学校体育大会男子バスケットボール競技において、射水キャンパス男子バスケットボール部が日頃の練習の成果を十分に発揮し、3位に入賞しました(2年連続)。



全国高専大会剣道競技男子個人で優勝

8月22日(水)に、福岡県久留米市の久留米アリーナで開催された第53回全国高等専門学校体育大会剣道競技男子個人の部で、機械システム工学科5年の木倉健成さんが優勝しました。決勝戦は息詰まる攻防が続くなか、延長戦の末、鮮やかな面で勝利しました。木倉選手は、初戦から相手に一本も取られないことのない圧巻の剣道で、準優勝した第51回大会の雪辱を果たしました。



東海総体(インターハイ)

陸上競技 8月2日～6日 三重県営総合競技場陸上競技場(スポーツの杜伊勢)

13川口陽南太 男子三段跳
13館田瑛史 男子ハンマー投(5位入賞)／男子円盤投／男子砲丸投
K3林勇希 男子三段跳

水泳 8月17日～20日 日本ガイシアリーナ

13山元樹 男子100m背泳ぎ／男子200m背泳ぎ



陸上競技 男子ハンマー投

電子情報工学科3年 館田 瑛史

中3の時、砲丸投で全中やジュニアオリンピックに出場したのですが、やり残したことがあるのではないかと悔しい思いが残りました。高専入学後は、できることをとことんやろうと決意し、地道に練習してきました。しかし、1年次では北信越突破はかなわず、2年次にはインターハイ(IH)出場はできたものの、「納得できる投げ」とはなりません。3年になってからは、身体の無駄な動きをできるだけなくし、中心軸がぶれずにより高速に回転して、きれいに投げることができるよう、細心の注意を払って練習や試合に臨んできました。IHでもU18でも、優勝を狙うだけの力は自分にあっと思いましたが、あと一步、前に出ることができませんでした。今後も、高みを目指して勝ち続けるため、基礎基本をしっかりと積み重ね、粘り強く努力していくつもりです。

インターハイ 陸上競技で5位入賞

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)陸上競技で、男子ハンマー投で決勝に進出し、5位入賞。63m77は自己新記録であり、富山県高校新記録を達成しました。



第12回U18日本陸上競技 選手権大会で準優勝

第12回U18日本陸上競技選手権大会(10月19日～21日に開催)に出場。男子ハンマー投の大会記録更新となる62m92の投てきを見せ、準優勝することができました。

第53回全国高等専門学校体育大会記録集(3位以上)

陸上競技

8月18日～19日 えがお健康スタジアム(熊本県)

男子100m	2位	S3五十嵐晴紀
男子200m	1位	S3五十嵐晴紀
男子110mハードル	3位	K5山本学樹
男子4×100mリレー	1位	I3南保陸駆 I4駒井宏至 I2谷口響 S3五十嵐晴紀
男子走高跳	2位	S3曾場建太
男子砲丸投	1位	I3鎗田瑛史
男子円盤投	1位	I3鎗田瑛史
男子円盤投	2位	S5上田啓太
女子100mハードル	1位	I1直井保乃花
女子100mハードル	3位	I2萩中七海
女子4×100mリレー	3位	2E宮武未歩 3M鳥海日海理 5C森有希奈 4C水上真菜
女子走幅跳	2位	3M鳥海日海理
女子やり投	2位	K5二塚咲来
女子砲丸投	1位	K4飯野結貴
女子円盤投	1位	K4飯野結貴



剣道

8月22日～23日 久留米アリーナ(福岡県)

男子個人戦 優勝 5M木倉健成

柔道

8月25日～26日 大分県立総合体育館

男子団体戦 3位 本郷キャンパス
5M小林哲也
5E塚原和希
5C鬼原渉
4M石坂洗樹
2E中澤晟侑
2M平田凌一
2M藤田桃也
女子63kg級 準優勝 4C本田和香奈

男子バスケット

9月1日～2日 熊本県立総合体育館

3位 射水キャンパス

水泳

9月1日～2日 長崎市民総合プール(長崎県)

男子100m平泳ぎ 2位 2C石田悠人
男子200m平泳ぎ 2位 2C石田悠人
女子100m背泳ぎ 1位 4C平井若菜
女子100m平泳ぎ 1位 53甲谷葵
女子200m個人メドレー 3位 53甲谷葵

剣道 男子個人戦優勝



機械システム工学科5年

木倉 健成

これまでの高専大会の成績は、1年生の時は全国大会1回戦敗退、2年生の時は全国大会2回戦敗退、3年生の時は全国大会準優勝と順調に成績を伸ばしてきましたが、4年生の時は過信により、体重管理が甘く、体の動きが悪くなり、北陸地区大会で3位となり、全国大会への出場は果たせず、悔しい思いをしました。それからは、この悔しさをばねに体重を10kg以上落とし、高専最後の大会に備えました。

今回の全国大会では、1回戦から全て延長戦となり、長い試合では20分以上の試合となりました。決勝戦は延長戦となり、一本決まれば優勝、という状態でしたが、意外と落ち着いて、相手が待ちきれずに出てきたところを、かわしながら攻めて一本勝ちとなり、優勝を決めました。

高専に入学する前から剣道では実績を残していたので、高専に入学したときには、高専大会全国優勝を宣言していました。しかし、実際に全国大会に出てみると、思ったよりも全国の壁は厚く、この宣言はなかなか達成することができませんでした。それがやっと果たせて、すぐ達成感がありました。高専大会で優勝できたのも皆さんのおかげだと感謝しています。

第73回国民体育大会

『福井しあわせ元気国体』

アーティスティックスイミング

9月10日 金沢プール(石川県金沢市)

3C大田花織 少年女子 デュエット
(富山南高校の高井春陽さんと共に出場)

陸上競技

10月5日～9日 9.98スタジアム(福井県営陸上競技場)

I3川口陽南太 少年男子共通 三段跳
I3鎗田瑛史 少年男子共通 円盤投/
少年男子A ハンマー投
S3曾場建太 少年男子共通 走高跳
I1直井保乃花 少年女子B 100mハードル

自転車競技

9月25日～29日 大野市特設ロードレースコース/
福井競輪場

I3黒田拓社 少年男子個人 ロード・レース/
少年男子 スプリント

カヌー競技

9月30日～10月8日 九頭竜川特設カヌー会場

I1藤井大智 成年男子 カヌー・スラローム・カヤックシングル

ゴルフ競技

10月5日～6日 越前カントリークラブ

K3青山颯希 女子個人



高校野球富山大会開会で 本郷キャンパス野球部主将が 選手宣誓

富山市民球場で行われた、第100回全国高等学校野球選手権記念富山大会開会式(7月11日)において、本郷キャンパス野球部主将の高橋和希さん(電気制御システム工学科3年)が選手宣誓を行いました。868人の球児を代表して、「全身全霊、一生懸命、仲間を信じ、そして自分を信じ、最後まで正々堂々戦い抜くことを誓います」と力強く、宣誓いたしました。

部活動紹介

4月11日(水)・12日(木)、新入生に各部活動について知ってもらうことを目的としたイベントの開催を行いました。今年度は、各部活動から練習日や活動場所などの情報の説明と運動部によるパフォーマンスと文化部によるプレゼンテーションが行われました。



献血推進キャンペーンのボランティア

献血推進キャンペーンのボランティアを行っています。このキャンペーンは年に2回夏と冬に行われており、今年度は8月5日(日)と12月9日(日)で、私たち学生会執行部のメンバーがショッピングモールへ行き、献血の呼びかけを行いました。少しでも献血者が増え、血液を必要としている方々に届くことを願います。

全日本製造業コマ大戦とやま特別場所 2018に出場



8月5日(日)に富山市グランドプラザで開催された「全日本製造業コマ大戦とやま特別場所 2018」に、機械システム工学科3年生のチームが出場しました。試合結果は予選リーグ2勝1敗ながら、得失点差で予選3位となりました。

第25回全国高等専門学校将棋大会女子個人戦で準優勝

8月22日(水)~24日(金)に、茨城県ひたちなか市のワークプラザ勝田を会場に第25回全国高等専門学校将棋大会が実施されました。物質化学工学科3年の湊梨緒さんが女子個人戦で準優勝いたしました。



合同球技大会

本郷キャンパス学生会執行部の活動の1つとして両キャンパス合同球技大会があります。今年度は10月4日(木)に開催され、射水キャンパスでは1~3年生、本郷キャンパスでは4年生が各種目に分かれて競技を行いました。本郷キャンパスはバスケットボール、ビーチボール、ドッジビー、ストラックアウト、そして新競技としてバレーボールを追加した5つの種目を行いました。競技を通じて各学科やクラスの団結力や両キャンパスの交流を深めることができました。また、学生会執行部としてもたくさんの学生や先生方の関わる行事運営を通じて、新たな経験と反省点を発見することができました。そして、今年度の発見を来年度以降の両キャンパス交流につなげていきたいと思っております。



吹奏楽部が第29回定期演奏会を開催しました

12月15日(土)、富山県教育文化会館で、本郷キャンパス吹奏楽部が第29回定期演奏会「No Name Players' Concert 29th」を開催しました。三部構成1時間半のステージでは、一部は「アルヴァマー序曲」、「稲穂の波」など、二部では「千と千尋の神隠し」をモチーフにしたアンサンブル形式、三部では元気が出る曲を中心に「We Wish You a Merry Christmas」、など全10曲を演奏しました。

廃炉創造ロボコンで特別賞を受賞



福島県楡葉町の日本原子力研究開発機構(JAEA)楡葉遠隔技術開発センターで、第3回廃炉創造ロボコンが開催されました(12月15日(土))。電気制御システム工学科5年生の川村翔馬さん・野村紋世さん・吉野聡汰さんのチームが参加し、特別賞・アトックス賞を受賞しました。競技は、炉心から溶け落ちた核燃料(デブリ)の取り出しを想定し、遠隔操作するロボットを駆使し、狭い通路を通過した後、3.2メートル下にあるデブリに見立てたボールを回収するというものでした。富山高専チームは通路を通過し、ボールまで腕を伸ばし、帰還することに成功したことが高く評価されました。

射水キャンパス学生会副会長 電子情報工学科4年 野崎 真之介

学生会では、カッターレース大会や高専フェス、球技大会などの学校行事の運営や、海浜清掃、ロボコンの応援など、様々な活動をしています。今年の学生会はこれまでの活動に加え、今年度の学生会が掲げた「学生みんなで作る学校」という目標を達成するために、学生の意見を取り入れるべく、意見箱というものを設置しました。集まったものには、改善してほしい点や、感謝の言葉、学生会では思いもよらなかった意見など、現在学校生活を送っている学生ならではの様々な意見がありました。集まった意見をもとに、今の学生のニーズに合った学校づくりを目指し、尽力しました。最後に、これまで学生会活動に関わっていただいた学生、教官、学生課の皆さんのおかげで、今年も無事に学生会を運営することができました。ありがとうございました。

カッターレース大会



7月12日(木)、臨海実習場でカッターレース大会が実施されました。当日は、途中雨が降り一時中断する場面もありましたが、予定していたレースを全て実施し、無事大会を終えることができました。参加全チームが全力でカッターを漕ぎ、参加者も見学者も伝統のレースを楽しみました。

カッターレース大会成績(7月12日)

- 男子艇
1位 商船学科5年
2位 電子情報学科4年
3位 電子情報学科2年A艇
- 女子艇
1位 国際ビジネス学科5年
2位 国際ビジネス学科2年
3位 国際ビジネス学科4年A艇
- 男女混合艇
1位 電子情報学科3年A艇
2位 商船学科5年
3位 商船学科3年A艇
- ベストチームワーク賞
電子情報学科5年 男女混合艇A艇
- ベストシーマンシップ賞
電子情報工学科4年 男女混合艇A艇
- 一番元気があった賞
国際ビジネス学科1年 男女混合艇
- 来年に期待しま賞
商船学科1年 男女混合艇B艇

洋上救命講習を実施しました

7月19日(木)、射水市海老江沖で洋上救命講習を実施しました。本講習は洋上での救命技術を体得することを目的に行っており、商船学科4年生41名は、5班に分かれ、着衣のまま救命胴衣を装着し、本校練習船若潮丸のデッキから2.7メートル下の海中へ一人ずつ飛び込みました。学生たちは救命筏を目指して泳ぎ、一旦筏に乗り込んだ後、再び船尾まで泳ぎ、自力でライフネットや縄梯子をよじ登り、船に戻りました。午後には、実習海域を新湊沖5海里(約9.3km)の海面に移動し、各種遭難信号の打ち上げ実習を行いました。



高専フェス

射水キャンパス第2体育館で、学生会主催の高専フェスが開催されました(11月14日(水))。3年前に秋の音楽祭として始動したイベントを引き継ぎ、昨年度から高専フェスとして実施しています。吹奏楽部やフリースタイルダンス同好会、軽音楽同好会が日頃の練習の成果を披露しました。また、会場内でミニゲームも実施し、イベントを盛り上げました。



全国高等専門学校第29回プログラミングコンテスト競技部門に参加

平成30年10月27日(土)・28日(日)
徳島県立産業観光交流センター

第29回全国高専プロコン競技部門において、チーム名「我ら身代わり隊」(電子情報工学科2年岩田有喜さん、同2年高島敦さん、同1年大道太陽さん)が出場。競技のテーマは「巡ります」。囲碁を模した題材で、碁盤の各マスに与えられた点数をうまく囲みながら陣地を増やし、高得点を目指す競技で、各高専チームが独自のアルゴリズムを用い競い合いました。「我ら身代わり隊」は善戦するも決勝トーナメントに駒を進めることはできませんでした。「次は上位をめざす」と次回宮崎大会に向け気持ちを新たにしました。



課外活動 [国際交流・英語プレゼン]

NYK-TDG Maritime Academyの学生・教員が本校を訪問

10月14日(日)~17日(水)、フィリピンのNYK-TDG Maritime Academy (NTMA)の航海科5名、機関科5名、計10名の3年次学生と引率教員の訪問を受けました。商船学科学生や教職員とともに、実験や乗船実習、帆船海王丸での体験学習などを行い、親睦を深めることができました。NTMAは、日本郵船(NYK)とフィリピンのトランスナショナル・ダイバーシファイド・グループ(TDG)が共同運営する、船舶職員養成を主目的とする大学で、2007年6月に創設されています。



第12回東海北陸地区高専英語プレゼンテーションコンテストで3位入賞



第12回東海北陸地区高専プレゼンテーションコンテストが、11月10日(土)に福井高専で開催されました。本校からは、10月10日(水)の校内予選を勝ちぬいた、電気制御システム工学科2年森田怜さん、物質化学工学科3年浅田康太郎さん、国際ビジネス学科2年加藤孝明さん、同学科4年西川若奈さんが、選手として出場いたしました。「A Culture Gap」と題したプレゼンテーションで、加藤さんが見事3位に入賞しました。

タイ・キングモンクット工科大学とシンガポール・テマセクポリテクニクからの短期留学生

9月25日(火)、タイ・キングモンクット工科大学とシンガポール・テマセクポリテクニクから短期留学生がやってきました。タイからは2名で、本郷キャンパスに12月21日(金)まで滞在し、機械システム工学科、電気制御システム工学科の指導教員のもと、研究課題や学業に取り組みました。シンガポールからは4名で、12月15日(土)まで射水キャンパス各学科で研究生生活を送りました。



フィンランドの高校生との交流活動を実施しました

11月1日(木)から3日(土)にかけて、フィンランドのヴァーサ・リュセオ高等学校の生徒16名が本校を訪問しました。1日にバルチラジャパン株式会社富山工場と射水キャンパスを、2日には本郷キャンパスを訪問しました。各キャンパスでは授業への参加、カーボンフットプリントについてのプレゼンテーション、歓迎会やクラブ活動見学を行い、交流を深めました。3日には、本校学生12名と共に岐阜県の白川郷に出かけました。



本郷キャンパス

教務主事

柴田 博司



大切なことを見極めて

日々いろいろな新しい技術革新がある中で、本物の革新は何なのか、逆に「何が変わらないものなのか」を問うことが重要であると、中西輝政氏は著書『考える力』の中で述べています。

本校にある大きな樹木を見ると学校の歴史を感じます。樹木の成長が表すように何十年も前からここで学ぶ人がいて、現在も変わらず学び続ける場であるということですね。この長い歴史の中で本校において本質として変わらないものは何なのでしょうか。

長い年月の中で高等専門学校として変わらない大切なことは、若い年齢からの専門教育を学ぶ場であること、学んだ知識を実践する訓練をする場であること、そして、学生と教員とのコミュニケーションの場であることではないでしょうか。

本校の仰岳寮前の銀杏は、秋になると金の絨毯のトンネルとなります。そこにいと時間が止まったような不思議な感覚になります。一步学校の外に出ると社会は目まぐるしく動き、常に変化革新しています。学習ツールも発達し、膨大な情報が手軽に入手でき、その利便性は近年はるかに向上しています。学生の皆さんだけでなく、我々教員も含めて、情報過多の中で本質として大切なことを見極めていきたいものです。



射水キャンパス

教務主事

塚田 章



前途洋洋

私の研究室(塚研)には写真が飾られています。自慢の教え子達です。平成15年から現在までに68名の学生が私の研究室を巣立ちました。NHK、JR、NTTデータ、任天堂、さらにはグラフィックデザイナーまで広範囲で活躍しています。また、大学に編入すると、多くは大学院に進学していますが、知っている範囲で4名が博士課程に進んでいます。そのうち2名は教員(東京大、ほこだて未来大)、1名はニュースアプリで有名なグノシーの共同創業者、そして1名は東工大在学中です。みんな私の手の届かないところで活躍しています。

先日、グノシー創業者の関喜史君が講演に来てくれました。高専時代から東大に編入して創業に至るまでを話してくれました。講演会で印象に残ったのは、高専生のすごいところは中学時点で将来に対する選択を自分でしていること、小さくてもいいから自分で目標を定め、それを実行する練習をしろということ、普段からアンテナの感度(意識)を高めて、自分なりの何かをキャッチしろということです。皆さんはこのうちの一つはすでにクリアしています。あとは目標を定め、アンテナの感度を高めてください。前途洋洋の未来が待っているはずですよ。



Toyama Kosen News & Topics

ニュース&トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。
(<http://www.nc-toyama.ac.jp/>)

「第1回とやまKOSEN コラボフォーラム」を開催

8月3日(金)、大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」にて、『第1回とやまKOSENコラボフォーラム』を本校技術振興会との共催で開催しました。このフォーラムは「グリーンイノベーション研究会」と「製品開発セミナー」を統合し、新たに発足させたものです。

今回は、一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンターより、岡田基幸センター長をお招きし、産学官連携組織の立ち上げから運営に関する取組みについてご講演をいただきました。技術振興会会員企業からは、(株)エネドリームの岡譲二代表取締役社長、北陸電機製造(株)の布村敏夫理事・生産本部品質保証部部長にご講演をいただきました。さらに本校シニアフェローである富山国際大学の土坂博亨教授に総評をいただき、本校教員による研究紹介2件と本校の産学連携の現状についても紹介いたしました。

第2回とやまKOSENフォーラム

第2回は、2月8日(金)13時00分から16時20分まで(12時30分受付開始)、CICビル5階の大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室1で開催いたします。ダイキン工業株式会社CSR・地球環境センターの御興直史グローバル専任部長、長岡工業高専環境都市工学科の村上祐貴准教授をお招きし、ご講演いただく予定です。

第九管区海上保安本部長からの 感謝状を伝達

9月14日(金)、伏木海上保安部において、本校練習船若潮丸乗組員に対し、感謝状及び盾の伝達式が行われました。若潮丸搭載の観測機器「表面海流計(ADCP)」による海象等のデータ提供が海洋情報業務に貢献したとして、第九管区海上保安本部長から表彰されたものです。当日は若潮丸の中松英也船長と観測を担当している商船学科の福留研一講師が伏木海上保安部に赴き、樺澤均伏木海上保安本部長から、伝達を受けました。



第4回 高専・海事教育フォーラム



日時：平成31年2月7日(木)
13:00~17:15 フォーラム 17:30~19:30 懇親交流会
会場：東京海洋大学 越中島キャンパス
越中島会館2階講堂(東京都江東区越中島2-1-6)

2月7日に「第4回高専・海事 教育フォーラム」を開催します

今年度、独立行政法人国立高等専門学校機構の「KOSEN(高専)4.0イニシアティブ」支援対象事業において、本校が申請した「新時代に活躍できる海事人材の産学連携による育成～新教育システム実装フェーズ～」と、広島商船高専が申請した「KOSEN(高専)と産業が連携した、次世代海洋人材の発掘と確保」が採択されました。

現在、海事関連団体や商船系高専5校がお互いに協力し合いながら、次世代の海事人材を発掘・育成するための教育改善事業を推進しています。本事業の成果を公開するため、2月7日(木)午後、東京海洋大学越中島キャンパス越中島会館2階講堂において、「第4回高専・海事教育フォーラム」を開催いたします。

富山高等専門学校

平成31年度入試情報

学科生募集

中学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者などを対象として、次の6学科に平成31年4月から学生を受け入れます。入学者の選抜は、推薦による選抜、学力検査による選抜、帰国子女特別選抜の方法で行われます。なお、推薦選抜の募集人員は各学科とも入学定員の50%以内とします。

募集人数

本郷キャンパス

機械システム工学科	入学定員	40名
電気制御システム工学科	入学定員	40名
物質化学工学科	入学定員	40名

射水キャンパス

電子情報工学科	入学定員	40名
国際ビジネス学科	入学定員	40名
商船学科	入学定員	40名

選抜方法

推薦による選抜

出願期間	平成31年1月7日(月)～1月9日(水)
検査日	平成31年1月20日(日)

学力検査による選抜および帰国子女特別選抜

出願期間	平成31年1月28日(月)～1月31日(木)
検査日	平成31年2月17日(日)

なお、入試関係情報の詳細については、学生募集要項または下記でご確認ください。

申込・
お問い合わせ

本校HP入試情報

<https://www.nc-toyama.ac.jp/>

本郷キャンパス学務課 入学試験担当

電話 076-493-5498

射水キャンパス学生課 入学試験担当

電話 0766-86-5145